



Title	スウェーデン語の前置詞framförの用法について
Author(s)	南澤, 佑樹
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2025, 25, p. 11-25
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100748
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

スウェーデン語の前置詞 framför の用法について

南澤 佑樹

1. はじめに

近年、英語の辞書編纂において積極的にコーパスが活用されるようになり、英和辞書の編纂でもコーパスの利用は一般的となっている（赤野 2008；赤野・井上 2018 など）。コーパスによって、少数の使用例を見ただけでは分からない語やフレーズの振る舞いに気づくことができるようになり、また実際の使用頻度に基づくより客観的な記述が可能になった（赤野 2008：10）。一方、スウェーデン語についていえば、そもそも我々が日本語で参照できる辞書が極めて少なく、またそれらもほとんどの場合一つの単語にいくつかの対訳が載せられているのみにとどまっている。とりわけ前置詞は、その多くが複数の意味を持つため日本語母語話者にとって習得が困難であるにもかかわらず、詳しい用法についてはほとんど論じられていない。Svensk ordbok（以後 SO）のようなスウェーデン語辞書が使えればより詳しい語法について調べられるが、それでも十分であるとは言い難い。

このことから本研究では、スウェーデン語の前置詞 framför 〈の前に〉を例にとり、コーパスデータに基づき語の用法の分析、記述を行う。この前置詞について『スウェーデン語辞典』（尾崎他 1990：framför の項）を見ると、「の前に；より先に、より以上に。」という対訳に加え framför allt が「とりわけ、なかなづく。」という訳とともに載せられている。しかしながら、それ以外の詳しい用法等については全く扱われておらず、この記述で framför の用法を理解するのは困難である。実際、SO の記述にしたがえば、framför は大きく 2 つ、細かく見れば 5 つの意味に分けられ、空間義 〈の前に〉の他、より抽象的な複数の意味を持つ多義語である。これらを踏まえ、本稿ではコーパスデータに基づき framför のより詳しい用法を記述し、その上で学習者にとってより理解しやすい辞書記述を提案する。また、それによりスウェーデン語・日本語対訳辞書の編纂においてもコーパスデータが非常に有益であることを示したい¹。

本稿の構成は次の通りである。第 2 章では、framför についてスウェーデン語辞書・文法書の記述を概観する。その際、framför の意味が大きく 3 つに分けられることを確認したい。続いて第 3 章では、主にコーパスデータに基づき、framför の個々の意味ごとに分析を行う。ここでは framför がどのような語と共起し、ど

¹ さらに本稿のもう一つの目的として、スウェーデン語学習者がスウェーデン語コーパスの使い方を理解できるよう、framför の用法分析の際に用いる Korp での検索方法についてできるだけ詳しく記述を行う。Korp について詳しくは梅谷（2014；2022）を参照のこと。

のような形式で用いられるのかに注目しながら例を挙げて論じていく。最後に第4章を本稿のまとめとし、本研究の結果に基づく framför の辞書記述を提案する。

2. スウェーデン語辞書・文法書における framför の記述

前置詞 framför は、fram と för からなる合成語であり、その中心的意味として空間的な〈の前に〉(以後、空間義)という意味を表す(清水他 2016: 294, *Svenska Akademiens ordbok* (SAOB):framför の項). SO や *Natur och Kulturs stora svenska ordbok* (NK)もこの意味を最初に載せており、空間的な〈の前に〉という意味を中心的和みなしていることが見てとれる。さらに、SO は対象に向かい合った際に手前にくる側をさす場合の意味〈の前に、の手前に〉(‘posera framför en kameralins 〈カメラレンズの前でポーズをとる〉’)と、位置的により前にあることを表す意味〈の前に〉(‘han satte sig på stolen framför henne 〈彼は彼女の前の椅子に座った〉’)を区別し、後者を前者の下位分類に入れている。加えて SO は、より抽象的な意味として時間を表す意味(時間義、‘ha hela livet framför sig 〈人生はこれからである〉’)や一方をより高く評価することを表す意味(優先義、‘hon föredrar te framför kaffe 〈彼女はコーヒーよりも紅茶を好む〉’)を挙げており、時間義を空間義の下位分類として、優先義を独立した意味としてみなしている²。それに対し、NK の記述を見ると、上の空間義に相当する意味以外の定義は見られず、その代わりに framför allt や ha något framför sig 〈を目の前にしている〉といったフレーズが挙げられている。しかし SO の意味記述を踏まえて両者の表現を見ると、この2つがそれぞれ優先義、時間義に分類されるフレーズであることが分かる。なお *Svenska Akademiens grammatik* (SAG: 694ff) では、空間義に関する記述は見られるものの、その他の意味についてはあまり触れておらず、Holmes and Hinchliffe (2013: 431)も、いくつかの例を挙げた上で文字通りの意味と比喩的な意味があると述べるにとどまっている。これらの辞書・文法書の記述を総合すると、framför には概ね、①空間義、②優先義、③時間義の3つの意味が認められることが分かる³。

以上を踏まえ、改めて尾崎他 (1990)を確認すると、framför の対訳「の前に；より先に、より以上に。」は、それぞれ空間義、時間義、優先義に対応していると考えられるかもしれない。しかし、その他の説明や例が載せられておら

² この優先義にも下位分類が設けられており、ここに framför allt が載せられている。

³ その他、ウェブ版の SAOB にも framför の項目がある。ウェブ版の SAOB は出版年がそれぞれの項目の左上に表示されるが (Publicerad...), framför の出版年は 1925 年である。意味分類は SO などの辞書よりも細かいが、すでに廃れた(†マークのついた)用法も多く見られる。また、*Svenskt språkbruk* (以後 SS) には一部の前置詞の項目が存在せず、framför についても副詞の項目で framför allt のフレーズを取り上げているのみである。

ず、学習者にとってこの語がどのように用いられるのかを理解するのは難しい。一方、清水他（2016）は、framför について日本語の対訳〈の前に〉およびそれに相当する英語 ‘in front of’ を挙げた上で、例文を 3 つ挙げている。

- (1) a. Mitt hus ligger framför banken.⁴（空間義）
 〈私の家はその銀行の前にあります。〉
 b. Jag föredrar te framför kaffe. 〈私はコーヒーよりも紅茶を好む。〉（優先義）
 c. Du har ett trevligt liv framför dig.（時間義）
 〈君の前には楽しい人生が待っている。〉（清水他 2016:294）

SO などの記述を踏まえて(1a-c)を見ると、これらの例文はそれぞれ空間義(1a)、優先義(1b)、時間義(1c)に対応していることが分かる。この点で、清水他（2016）は framför の意味を広く取り上げており、学習者にとっても framför の用法をより理解しやすい。しかし、時間義や優先義に関する用法の詳しい説明はなされておらず、それぞれの意味がどのような表現で用いられるのかを理解するのは依然として困難であると思われる。

3. コーパスデータに基づく framför の用法分析

3.1 検索結果

本研究では、主に PAROLE コーパスから framför の例を収集する。PAROLE コーパスとは、新聞や雑誌、小説、ウェブ上のテキストを集めた約 1900 万語から成る現代スウェーデン語書き言葉均衡コーパスであり、オンラインで扱えるコーパス分析ツール（コンコーダンサー）Korp（Borin et al. 2012）を通して様々な検索を行うことができる。今回の検索においては、検索条件を lemgram⁵とし、検索語は framför (preposition)とした。

PAROLE コーパスで検索を行った結果、合計 6893 例の前置詞 framför を含む

⁴ 本稿で挙げる例文には、前置詞 framför および前置詞の目的語に下線を引いて示す。また、後に出典のない例文は全て、後述の PAROLE コーパスから取ったものである。

⁵ Korp を使った検索では、簡易検索（Enkel）、拡張検索（Utökad）、詳細検索（Avancerad）が選択できるが、手軽に検索ができるのは簡易検索あるいは拡張検索であろう。拡張検索を選択すると出てくる検索窓の ord〈語〉をクリックし、そこで lemgram〈レマ〉を選択すれば、見出し語形だけでなく異なる変化形（動詞なら現在形、過去形、命令形など）を全て検索できる。framför は前置詞であるため語形が変わることはないが、動詞 framföra〈伝える〉の現在形も形は framför であり、この条件によって前置詞 framför ではない例を除外できる。

なお、Svenska Akademiens ordlista が指摘しているように、framför allt〈とりわけ〉は framförallt のように一語で綴られることがある。そして、コーパス内で framförallt は一語で副詞とタグ付けされている、つまり前置詞 framför とは別の語として扱われていることから、上記の検索で framförallt を含む例を収集することはできない。

文が得られた。次の図 1 は検索結果をランダムに並び替え、その上位 20 語を表示したものである⁶。

PAROLE (stödjer ej utökad kontext)

es ha symbolisk betydelse - att Sverige prioriterar EU	framför	Norden.
osäkra mellanläge, spanar de på oss som om de stod	framför	en onåbar främling.
Och vi vänder oss	framför	allt till killar och tjejer som är tolv år eller yngre, förklara
	framför	allt har det i Baden behövts en mental ansträngning att
Konkurrenterna i basketligan, och	framför	allt domarna, har sannolikt en annan uppfattning om h
De satt där och stirrade	framför	sig, alla i samma riktning till synes utan att någonsin bli
Vad som grumlar den liberala segern är	framför	allt Kanadas tilltagande politiska sönderfall.
i utan sin hårmän är inget gemene man skulle missat	framför	TV:n.
låta bli att se det där droppande spetsiga på en hund	framför	sig och slog händerna för ansiktet.
Men	framför	allt ska det ge ungdomarna större inflytande över frågor
torner ett priskrig upp sig mellan kryssningsjättarna,	framför	allt i Karibien.
er allt - lösningar som tränare brukar behöva timmar	framför	videoapparaterna för att upptäcka snappar han mitt un
Att lagren går upp under juli (	framför	allt) och augusti är dock säsongsmässigt normalt.
nappa åt sig priset som den mest värdefulle spelaren	framför	nåsan på Jordan.
Scaith höll upp kortet	framför	henne.
öjligt att anbudsupphandla kommunal verksamhet -	framför	allt äldreomsorg - och låta privata företag sköta driften.
	framför	allt kunde vi hjälpa honom genom att stänga passet vid
erggarage under Kungshöjd skulle ha in- och utfarter	framför	allt från Götatunneln men även från Rosenlundsgatan r
n: barndomen, sexualiteten, minnen av modern och -	framför	allt - av den på en gång älskade och hatade fadersfigure
Men	framför	allt låter det.

図 1：前置詞 framför の検索結果ランダム表示上位 20 例 (PAROLE)

図 1 を見ると、framför allt 〈とりわけ〉が 12 例あり、framför が何よりもまず framför allt の形式で用いられることが一目で分かる。その他に目立った共起語は見られないが、再帰代名詞 sig が framför の目的語として 2 度現れている。

さらに Korp では、図 1 のように用例を KWIC 形式で表示させるだけでなく、Statistik のタブを開いて様々な頻度データを得ることができる。また、拡張検索 (Utökad sökning) の検索窓右にある Lägg till token をクリックすれば検索窓を増やすことができ、これによってフレーズ検索ができるようになる。この状態で Statistik のタブを開けば検索語の (左) 右にどのような語が現れるのかについても調べることができる。次の表 1 は、前置詞 framför の右にくる高頻度語上位 10 語を示したもので、左側は品詞の指定なし、右側は品詞を名詞に限定した場合の

⁶ 検索語入力欄下にある KWIC (keyword in context) の項目で 'sortera inom korpus på: slumpvis 〈コーパス内でランダムに並び替える〉' を選べば、検索結果をランダムに並び替えることができる。また vänsterkontext/högerkontext では、検索語の左右にくる語のアルファベット順に例文を並び替えることができる。つまり、framför で検索を行った上で högerkontext を選択すれば framför が前置詞目的語としてとる語の傾向を実例を見ながら確認することができる。

⁷ 検索窓右にある Lägg till token をクリックした後、新しく現れる検索窓の ord 〈語〉を ordklass

結果である。結果は両者ともに lemgram 表示⁸で、右側の数値は頻度である。

	共起語（品詞指定なし）	頻度	共起語（名詞）	頻度
1	all 〈全て〉	3355	tv 〈テレビ〉	86
2	sig 〈自分自身〉	524	TV 〈テレビ〉	72
3	en 〈(冠詞) ある〉	390	spegel 〈鏡〉	54
4	jag 〈私〉	176	kamera 〈カメラ〉	42
5	den 〈それ〉	159	öga 〈目〉	33
6	han 〈彼〉	151	scen 〈ステージ〉	27
7	vi 〈私たち〉	141	näsa 〈鼻〉	27
8	hon 〈彼女〉	99	mål 〈ゴール〉	23
9	tv 〈テレビ〉	86	hus 〈家〉	22
10	de 〈彼ら〉	74	fot 〈足〉	21

表 1：前置詞 framför の右側に現れる高頻度共起語上位 10 語

図 1 の結果からも明らかであったように framför の右側に現れる共起語で最も頻度が高いのは all 〈全て〉である⁹。つまり、framför の用例全体の 48.7% (6893 例中 3355 例) が framför allt の形で用いられており、次に多い再帰代名詞 sig (7.6%, 6893 例中 524 例¹⁰) と合わせると 50% を超える。一方、品詞を名詞に限定すると表 1 右の結果が得られるが、最も上位にくるのは tv/TV 〈テレビ〉や spegel 〈鏡〉, kamera 〈カメラ〉であり、これらの名詞は「人が（比較的近くから）目を向ける対象物」であるという点で共通している。また öga 〈目〉や näsa 〈鼻〉, fot 〈足〉といった身体部位を表す語との共起頻度が高く、これらは全て人の前面（通常歩く時に進む方向）に位置する身体部位を指す語である。

〈品詞〉に変更し、そのすぐ下の品詞の欄で substantiv 〈名詞〉を選択すれば、(前置詞 framför の直後にくる) 共起語を名詞に限定することができる。

⁸ 頻度結果 (Statistik) を見るには、検索語入力欄下の例文の並び替えの項目の右にある Visa statistik 〈統計を見せる〉にチェックをつける必要がある。そのチェック欄左で Sammanställ på: lemgram 〈レマ (見出し語形) でまとめる〉を選択することで (初期設定では ord), Statistik を lemgram 表示にすることができる。

⁹ Statistik で得られる共起語リストを lemgram 表示 (sammanställ på: lemgram) に設定すると、複数の lemgram に結び付いた語が両方ともリストに現れてしまうため注意が必要である。表 1 で最も頻度の高い all は、代名詞 all 〈全て〉だけでなく framför allt 〈とりわけ〉にも結び付いているためリストに重複して現れる。本稿で挙げる共起語リストでは、そのような重複例は除外した。さらに複合語などで lemgram が空欄 (ページ右の ordattribut 〈語の属性〉の欄の lemgram に [tom] と表示) になっている語はリストに「-」と表示され、合算されてリストに表れるため、このような例についても表からは除外している。

¹⁰ ここには再帰所有代名詞 sin/sitt/sina の例も含まれる (12%, 524 例中 63 例)。

なお、Statistik のタブの右側には Ordbild というタブがあり、簡易検索(Enkel sökning)を使えばここでも検索語のコロケーションを調べることができる。下の図 2 は前置詞 framför の Ordbild 上位 15 語である。なお、Ordbild で表示される数値自体は頻度(図中右の数値)であるが、並び順は共起語の LMI¹¹ (Lexicographer's Mutual Information) スコアの数値が高い順であり、頻度順にはなっていない点に注意しなければならない。

この Ordbild の結果は、表 1 の framför の直後に現れる名詞の頻度順とよく似ており、順位の変動はあるものの brasa 〈(暖炉などの) 火〉と tv-kamera 〈テレビカメラ〉以外は同じ語が上位 10 語に現れている。また、この 2 つの名詞も先述の「人が(比較的近くから)目を向ける対象物」であるという特徴を有している。

以上をまとめると、前置詞 framför は本来空間義〈の前に〉を表すが、頻度的には優先義に分類される framför allt 〈とりわけ〉での用例が極めて高く、全体の半分近くがこの形式で現れている。また、上の表には framför の高頻度共起語として時間に関連する語は見られず、このことから framför は、空間義や優先義と比べて時間義で用いられる頻度が低いことが見て取れる。

次節では、辞書やコーパスから収集した用例を挙げながら、それぞれの用法についてより詳しく考察を行っていく。

3.2 前置詞 framför の意味ごとの分析

3.2.1 空間義 〈の前で、目の前で〉

先述のように、framför は fram と för の合成語であり、基本義として空間的な〈の前に〉という意味を表す。SO は、対象に向かい合った際にこちらを向いてい

framför..pp.1 (preposition)

Framför	Preposition
1. spegel	53
2. kamera	43
3. tv ²	60
4. TV ²	53
5. fot	35
6. öga	36
7. brasa	16
8. hus	36
9. scen	29
10. tv-kamera	12
11. TV-kamera	11
12. mål	26
13. dator	18
14. TV-apparat	10
15. teve ²	9

図 2：前置詞 framför の Ordbild

¹¹ 共起する 2 語の結合関係(コロケーション)を測る指標に MI スコアがあり、この指標は意味的に結びつきの強いコロケーションを調べるのに適していると言われている(赤野 2009: 139-140)。しかし、この指標は共起語単独の頻度が低い場合に極端に高い数値を出す傾向があるため、低頻度語の重みづけを考慮して修正されたのが LMI スコアである(e.g. Bordag 2008)。Ordbild について詳しくは Språkbanken が公開している Korps handledning (Hammarstedt 2023) を参照のこと。

る側を指す意味〈の手前に〉と、位置関係がより前方にあることを表す意味〈の前に〉を区別しているが、この違いは次の文の解釈から見て取れる。

- (2) Ställ kartongerna framför bilen! 〈車の前に段ボールを立てておいて!〉
(SAG: 695, 日本語訳筆者)

SAG によれば、(2) の文には2通りの解釈がある。まず、車が通常進む方向を前として捉える場合であり、このとき段ボールは車のフロントのところに置くのが正しいことになる。一方、発話者が車を横から眺めていれば、この車の横側が前として捉えられ、この解釈では車の横側に段ボールを置いても問題はない。このように framför が空間的な意味を表すとき、しばしば対象に備わる内在的方向性（‘inherent orientering’）に基づく前と、発話者からの視点に基づく前という2つの解釈が可能である（SAG: 694–695）。以上の解釈は次のように図示できる。

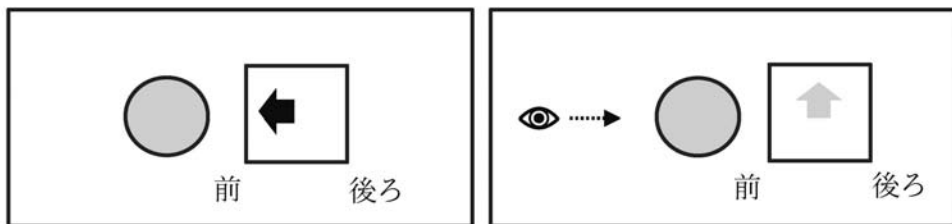


図3：内在的方向性に基づく前後（左）と発話者の視点に基づく前後（右）¹²

特に人や動物、乗り物の場合に前者(図3左)の解釈が優勢となる(SAG: 694)、つまり顔や目が向いている先、あるいは通常移動する方向が前と解釈される傾向がある。これに加え、鏡やカメラ、テレビなど framför とよく共起する語の多くも、その形や機能から、内在的方向性に基づく解釈が優勢になるとと思われる。次の例は、framför が spegel 〈鏡〉(3a)、kamera 〈カメラ〉(3b) と共起しており、内在的方向性に基づく前を表していると考えられる。

- (3) a. Getrud står framför spegeln och prövar olika ställningar.
〈イエートルドは鏡の前に立って、様々なポーズをとってみる.〉
b. När han stod framför kameran, verkade han ofta litet tillknäppt.

¹² ある概念に関して、概念化者が注目する部分（プロファイル）の中で最も際立ちの高い部分をトラジェクター、次に際立ちが高くトラジェクターの基準点となる部分をランドマークと呼ぶ（Langacker 1987: Ch.6）。ここでは、前置詞目的語がランドマーク（図中四角）、その前にある最も際立ちの高い対象（丸）がトラジェクターとなる。また図左の矢印はランドマークの持つ内在的方向性を、図右の目のマークは発話者の視点、点線は目を向ける方向を表す。

〈カメラの前に立つと、彼は少しよそよそしく見えることが多かった。〉

多くの場合、鏡は反射面が使用者の方向を向くように、カメラはレンズのついた側が被写体の方を向くように置かれる。一方、その前方にいる人は鏡やカメラに向かい合うように姿勢をとるのが普通である。また、鏡を覗いた先の鏡像は常に使用者側を向いており、カメラの場合ファインダーを覗く人が向くのもレンズのついた側の方向である。このような鏡やカメラの機能的な特徴によって鏡では反射面、カメラではレンズのついた側が前側とみなされる。なお、(2) の車などと比べると、一般的な鏡やカメラはサイズも小さく、特に鏡には側面と呼べるような厚みもないものが多い。これにより、鏡やカメラでは内在的方向性に基づく前の解釈が優勢になり（あるいは内在的方向性に基づく前と発話者の視点に基づく前が重なるため）、(2) の文のような解釈の違いはより生じにくい。

それに対して、次の (4) では、発話者からの視点がより重要である。つまり、ある対象物について、常に発話者から見て手前側が前となる (図 3 右)。

(4) a. Ser du den där busken framför trädet? (SAG: 696)

〈その木の手前のあの茂みが見える?〉

b. Han står framför dörren. 〈彼はそのドアの前に立っている。〉

上の例文について、trädet 〈その木〉 (4a) には顔や目がなく、また移動もしないため、本来前も後ろもない。このとき、発話者に向かい合った面側が前と見なされるため、視点によって 360 度のあらゆる方向が前となりうる。同様に、dörren 〈そのドア〉 (4b) についても、発話者がドアのどちら側にいるのかによって前と後ろの方向が異なり、視点が変われば前と後ろも逆転する。

次に、表 1 を見ると、framför の後にはしばしば身体部位 öga 〈目〉, näsa 〈鼻〉, fot 〈足〉が続くことが分かる。このうち öga と näsa については (mitt) framför ögonen/näsan (på A) のフレーズで用いられ、〈(A の) 目の前で〉 (5a, b) という意味を表す。同様に、fot は (mitt) framför fötterna (på A) というフレーズで用いられ、〈(A の) 足元に〉という意味を表す (5c)。

(5) a. Han stal cykeln mitt framför ögonen på mig. (NK)

〈彼は私の目の前でその自転車を盗んだ。〉

b. Tjuven tog väskan mitt framför näsan på den gamla damen. (NK)

〈その泥棒はその老婦人の目の前でカバンを盗った。〉

c. Bollen hamnade mitt framför fötterna på honom. (SS)

〈ボールが彼のすぐ足下にくた.〉

SS (näsa の項) によれば, mitt framför näsan på någon は知覚者がその場に相応しくない事柄を目の前で目撃する場合に用いられる表現である (cf. 南澤 2022). 一方 mitt framför ögonen på någon にはそのような用法の説明は見られない. しかし (5a) のように, 実際には mitt framför ögonen på någon にもしばしば知覚者が予期しない事態を目の当たりにしたことともなう驚きの感情が伴う. それに対して framför fötterna på någon 〈の足元に〉は, framför の直前あるいは文の主語に boll 〈ボール〉をとることが多く, サッカーの文脈でよく用いられる.

さらに, 表 1 を見ると framför は直後に再帰代名詞 sig を伴う用例が多いことが分かる. この表現は, 文字通りに捉えれば「自分の前で」という意味であり, また se 〈見える〉, stirra 〈じっと見つめる〉との共起頻度が高いことから一見すると直前の mitt framför ögonen/näsan と似た空間的な意味を表すように思われる. 実際, 次の (6a, b) では se/stirra framför sig が空間的な意味〈自分の目の前を見つめる〉を表している.

(6) a. Han kunde inte se sin egen hand framför sig.

〈彼は目の前にある自分自身の手を見ることができなかった.〉

b. Hon spärrade upp ögonen och stirrade rakt framför sig.

〈彼女は目を見開いて真っ直ぐ目の前を見つめていた.〉

ただし, 動詞 se 〈見る〉や stirra 〈見つめる〉が framför sig と共起し, その表現が空間的な意味を表す場合, 動詞が目的語をとる (6a) のタイプの文は比較的数字が少なく, その多くは目的語を取らない (6b) の se/stirra (rakt) framför sig 〈(真っ直ぐ) 目の前を見つめる〉のフレーズで現れる¹³.

しかしながらコーパス内の例を見ていくと, framför sig を含む文の多くは純粹な空間義ではなくより抽象的な意味を表していることが分かる.

(7) a. Politikerna har en mycket svår uppgift framför sig, ...

〈政治家たちの目の前にはとても困難な課題が立ちほだかっている.〉

b. Man sköt problemen framför sig.

¹³ PAROLE コーパスで framför sig の直前にくる共起語を調べると, 最も頻度が高いのが se 〈見る〉であり, その後には rak 〈真っ直ぐな〉, ha 〈持っている〉, stirra 〈じっと見つめる〉, uppgift 〈課題〉, そして problem 〈問題〉が続く. コーパス中に se/stirra (rakt) framför sig 〈(真っ直ぐ) 目の前を見つめる〉のフレーズは合計で 66 例見られるが, 上記リストの se や rak, stirra はこのフレーズに関連する共起語である.

〈目の前にあるそれらの問題を先送りにした。〉

(7a) の文で目の前にあるのは en mycket svår uppgift 〈とても困難な課題〉であり、(7b) では problemen 〈それらの問題〉である。これらはどちらも物理的に目の前に存在するものではないため、純粋な空間義ではない。framför sig は uppgift や problem との共起頻度が高く¹⁴、この表現において目の前にあるのは対処すべき困難・重大な出来事である。これは、PAROLE コーパスで見つかる uppgift を含む 10 例の表現の全てにおいて、uppgift の直前に困難あるいは重大であることを表す形容詞 (svår 〈難しい〉 (5 例), tuff 〈困難な〉 (2 例), omöjlig 〈不可能な〉 (2 例), angelägnare 〈より重要な、喫緊の〉 (1 例)) が置かれていることから明らかである。これらの例は、通常人間が前方に進む生物であり、もし前方に障害物があればそれを取り除く必要があるという私たちの経験に基づいていると考えられる。この場合、自分に近いものほどすぐに対処する必要があるが、障害物が遠ざかれば緊急度も下がるため、(7b) のような表現が可能となる。

3.2.2 優先義 〈に優先して〉

前節の (7a) における ha en mycket svår uppgift framför sig 〈とても困難な課題が目の前にある〉では、課題が目の前にあると述べることで、それが対処すべき重要な問題であることを比喩的に表している。また (7b) では、問題を先送りにすることが、問題を後ろに押す (‘skjuta’) こととして表現されている。これらの背後には、(目の) 前にある課題や問題は重要度が高く、後ろにある (あるいは後ろに追いやった) ものは重要度が低い、というイメージが隠れており、これに基づく意味が優先義 〈に優先して〉である¹⁵。

すでに触れたように、前置詞 framför は framför allt 〈とりわけ〉 (8a, b) での使用頻度が最も高く、これは「全ての物事の前に置く」というイメージに基づく。

(8) a. Framför allt är det i texterna man hittar något nytt.

〈とりわけ何か新しいことが見つかるのはそれらのテキスト中である。〉

b. Vi ska inte förhastat oss, vi ska ta det lugnt, framför allt lugnt.

¹⁴ 注 13 で挙げたように、framför sig の直前にくる共起語の中で最も頻度の高い名詞が uppgift 〈課題〉であり、その後に problem 〈問題〉が続く。

¹⁵ 概念メタファー理論 (Lakoff and Johnson 1980) に基けば、メタファーは単なる言葉の綾ではない。我々人間は、抽象的で理解が難しい概念をより具体的な概念を使って (つまりメタファーを通して) 理解している。この優先義に関連するものとして、Lakoff et al. (1991: 59) は、重要性という抽象概念をより具体的な空間的な前後の概念を通して理解するメタファー ‘Importance is Precedence’ を挙げている。

〈急ぎすぎではいけない，落ち着くんだ，まずは落ち着くんだ〉

この表現は *framför* の全用例の約半数にのぼり，この結果を見れば，NK や SS，尾崎他（1990）といった辞書がこの表現を取り上げているのは自然である。

さらに，*föredra* 〈より好む〉（9a）や *prioritera* 〈優先する〉（9b），*välja* 〈選ぶ〉（9c）といった動詞が「動詞 A *framför* B」の形式を取ることがある。

- (9) a. Älgen till exempel föredrar fuktigt väder framför stark sommarhetta.
 〈例えばヘラジカは，厳しい夏の暑さよりもじめじめとした天気の方をより好む〉
- b. Läkarna tvingas prioritera yngre patienter framför äldre.
 〈その医者たちは，高齢の患者よりも若い患者を優先するよう強いられる〉
- c. Själv har jag valt arbetet framför kärleken.
 〈私自身は愛よりも仕事を選んできた〉

これらの動詞は全て，「複数の選択肢の中で特定の対象を高く評価する」という点で意味的に共通している。特に，*föredra* はよく「*föredra* A *framför* B」〈A を B よりも好む〉の形式で用いられるが，この動詞自体 *före* 〈前へ〉と *dra* 〈引く〉から成り個々の要素を文字通りに読めば「A を B よりも前に引いてくる」と考えられるため，*framför* の優先義に基づく空間イメージとも矛盾しない。なお，コーパスを見ると *rekommendera* 〈勧める〉も同じ形式を取ることがあるが，コーパス内での生起頻度は *föredra* や *prioritera*，*välja* と比べるとかなり低い¹⁶。

3.2.3 時間義 〈を前にして〉

先行研究で確認したように，NK は時間義を独立した意味と認めておらず，また SO も時間義を空間義の下位分類として挙げるにとどめている。その他 *framför* の時間義について，どの辞書や文法書を見てもあまり論じられておらず。実際，*framför* の高頻度共起語を見ても時間を表す共起語はない。

しかしながら 3.2.1 で確認したように，*framför* は *framför sig* の形式をとる場合に比喩的な意味を表す傾向があり，特に「ha ... *framför sig*」の形式では時間の意味を表すことが多い。次の表現では，*framför* の直前にそれぞれ World Cup i

¹⁶ SAOB や SO の記述にしたがえば，*föredra* はドイツ語の *vorziehen* に基づく。また，SO によれば *preferera* 〈より好む〉も「動詞 A *framför* B」の形式で用いられ，*prioritera* や *föredra* と同様の解釈が可能な動詞であるが，PAROLE コーパスにおいてもこの動詞の頻度は低く，またこの形式をとっている例は本調査では見られなかった。

Japan 〈日本でのワールドカップ〉 (10a), *karriären* 〈(輝かしい) 経歴, キャリア〉 (10b), そして *framtiden* 〈未来〉 (10c) をとっている¹⁷.

- (10) a. Ett landslag som hade World Cup i Japan framför sig.
〈日本でのワールドカップを目前に控えていたチーム〉
b. Michael är bara 23 år och har *karriären framför sig*.
〈ミカエルはまだ 23 歳で, 前途有望である.〉
c. Jag har *framtiden framför mig*. 〈私には未来がある.〉

上の (10a-c) の文は全て [ha ... *framför sig*] の形式をとっている. *framför* が klockan 9 〈9 時〉や *nästa år* 〈来年〉のような純粋に時間を表す語を目的語にとっている例は見られず, この点で *före* (および *innan*) 〈の前に〉や *inför* 〈を前にして〉といった前置詞とは用法が異なる. また (10a) のように何らかの出来事, イベントを表す語句が *framför* の前にくる例も見られるが, (10b, c) のように, 特定のイベントではなく, ある一時点 (ここでは発話時点) から先の一定期間続く未来について述べる事が可能である. 実際, *framför* が [ha ... *framför sig*] の形式をとって時間義を表すとき, *hela livet* 〈一生涯〉 (11a) や *hela kvällen* 〈一晩中〉 (11b) のように, 形容詞 *hel* 〈全体の, 完全な〉を含む名詞句をとまうことがある.

- (11) a. Han hade *hela livet framför sig*. 〈彼の人生はこれからだった.〉
b. Tänk er att sitta där i lugn och ro och ha *hela kvällen framför sig*.
〈そこに静かに座って, これから長い晩が始まることを想像してみて.〉

(11a) の *ha hela livet framför sig* のフレーズは SO に例として挙げられているものの, 時間義を表すということ以外には何も述べられていない. しかしながら, このフレーズをより詳しく観察すると, このフレーズが使用される文脈には偏りがあることが見て取れる. 具体的には, 次の (12) の例のように「子供や若者が不慮の事故や病気, その他の事情のために, 突然その未来を閉ざされてしまう (可能性がある)」という文脈で用いられる傾向が高いと思われる.

- (12) Han ska fylla 16 år och har *hela livet framför sig*, men på grund av allt som

¹⁷ 先行研究で繰り返し議論されているように, 時間はしばしば空間的な移動として捉えられる (TIME IS A MOVING OBJECT, Lakoff and Johnson 1980; 1999 など参照). この理解に基づけば, 未来は前方 (過去は後方) にあり, したがって [ha ... *framför sig*] で表される時間も未来である. 3.2.1 で取り上げた (7a, b) の例文についても, 前方が未来であるという点で同じイメージに基づいている.

händer har Marko försökt ta sitt liv! (Göteborgsposten 2005)

〈彼は 16 歳になろうとしていて、人生はこれからである。だが起こること全てのためにマルコは自らの命を断とうとしたのだ!〉

しかしながら、PAROLE コーパスにはこのフレーズが 3 例しか見られず、また PAROLE コーパスでは前後の文脈を確認することができない。したがって、この傾向の妥当性については他のコーパスを用いて今後より多くの用例を観察する必要がある、これについては今後の研究課題としたい。

4. おわりに

本稿では、スウェーデン語の前置詞 *framför* 〈の前に〉について、コーパスから得られたデータに基づき *framför* の用法についてより詳しい記述を行った。まず *framför* が空間義を表す場合、ある対象に備わる内在的方向性に基づく前と、発話者からの視点に基づく前という 2 つの解釈が可能である。コーパスデータを見ると、内在的方向性を持ち「人が（比較的近くから）目を向ける対象物」である *tv* 〈テレビ〉や *spiegel* 〈鏡〉, *kamera* 〈カメラ〉といった語との共起頻度が高く、また予想外の驚きといった感情を含む *mitt framför ögonen/näsan* 〈の目の前で〉もよく見られた。次に *framför* の用例で最も多かったのは優先義に分類される *framför allt* 〈とりわけ〉であり、この表現は *framför* の用例の約半数にのぼった。この他、優先義では特に *föredra* 〈より好む〉, *välja* 〈選ぶ〉, *prioritera* 〈優先する〉を動詞に取り [動詞 A *framför* B] の形で用いられる。最後に *framför* は空間義や優先義と比べると時間義の用例は少なく、時間義を表すのは主に [ha A *framför* sig] の形式である。

本研究を踏まえ、最後にスウェーデン語辞書における *framför* の記述を提案して本稿の結びとしたい。

framför [前・副] : ① [空間] の (目の) 前に ; *stå framför spegeln* 鏡の前に立つ ; *mitt framför ögonen/näsan på A* (予想外の出来事について) A の目の前で ; *se/stirra (rakt) framför sig* 目の前を (真っ直ぐ) 見つめる ; ② [優先] *framför allt* とりわけ ; (*föredra/välja/prioritera A framför B* で) B より A を好む・選ぶ・優先する ; *föredra te framför kaffe* コーヒーより紅茶を好む ; ③ [時間] (特に *ha A framför sig* で) を前にして ; *ha hela livet framför sig* (主に事故や病気, 事件などの文脈で) 人生はこれからである

Användningen av prepositionen *framför* i svenskan

Sammanfattning

Yuki Minamisawa

I den här studien genomförs en korpusbaserad beskrivning av prepositionsanvändning i svenskan. Särskilt fokus läggs på prepositionen *framför* och dess användning analyseras med hjälp av PAROLE-korpus. Genom en korpusbaserad undersökning föreslås en lättförståelig och detaljerad beskrivning av prepositionen i svensk-japanska ordböcker och därmed syftar studien till att visa hur korpusar kan utnyttjas i ordboksbeskrivningar.

参考文献

- 赤野一郎. 2008. 「辞書編纂におけるコーパス利用」, 『英語青年』 153-12. 10-12.
- 赤野一郎. 2009. 「コーパス言語学」, 今井邦彦編. 『言語学の領域 (II)』, pp. 125-148. 東京: 朝倉書店.
- 赤野一郎・井上永幸編. 2018. 『英語コーパス研究シリーズ: コーパスと辞書』. 東京: ひつじ書房.
- Borin, Lars, Markus Forsberg & Johan Roxendal. 2012. “Korp – the corpus infrastructure of Språkbanken”, *Proceedings of LREC 2012*. 474-478.
- Bordag, Stefan. 2008. A Comparison of Co-occurrence and Similarity Measures as Simulations of Context. In Alexander Gelbukh (ed.). *Computational Linguistics and Intelligent Text Processing: 9th International Conference, CICLing 2008, Haifa, Israel, February 2008, Proceedings*, pp. 52-63. Berlin/Heidelberg: Springer.
- Hammarstedt, Martin. 2023. “Korps användarhandledning” (<https://spraakbanken.gu.se/verktyg/korp/anvandarhandledning>, 2024 年 5 月アクセス)
- Holmes, Philip & Ian Hinchliffe. 2013. *Swedish: A Comprehensive Grammar*, 3rd edition. New York: Routledge.
- Lakoff, George & Mark Johnson. 1980. *Metaphors We Live By*. Chicago: University of Chicago Press.
- Lakoff, George, Jane Espenson & Alan Schwartz. 1991. *Master Metaphor List, Second draft copy*. California: University of California.

- Lakoff, George & Mark Johnson. 1999. *Philosophy in the Flesh: The Embodied Mind and its Challenges to Western Thought*. Chicago: University of Chicago Press.
- Langacker, Ronald W. 1987. *Foundations of Cognitive Grammar: Volume I Theoretical Prerequisites*. Stanford: Stanford University Press.
- 南澤佑樹. 2022. 「スウェーデン語 *näsa* 〈鼻〉の比喩表現について」, 『IDUN－北欧研究－』 24. pp. 33–46.
- NK = Köhler, Per Olof, & Ulla Messelius. 2006. *Natur och Kulturs stora svenska ordbok*. Stockholm: Natur & Kultur.
- 尾崎義・田中三千夫・下村誠二・武田龍夫. 1990. 『スウェーデン語辞典』. 東京：大学書林.
- SAG = Teleman, Ulf, Staffan Hellberg & Erik Andersson. 1999. *Svenska Akademiens grammatik: 2 Ord*. Stockholm: Norstedts.
- SAOB = Svenska Akademien. 1893–. *Svenska Akademiens ordbok*. Stockholm. (www.saob.se, 2024 年 5 月アクセス)
- 清水育男・ウルフ・ラーション・當野能之. 2016. 『世界の言語シリーズ 12：スウェーデン語』. 東京：大阪大学出版会.
- SO = Svenska Akademien. 2021. *Svensk ordbok utgiven av Svenska Akademien, den andra upplagan*. Göteborg: Göteborgsuniversitet. (<https://svenska.se/>, 2024 年 5 月アクセス)
- SS = Svenska språknämnden. 2003. *Svenskt språkbruk*. Stockholm: Norstedts Ordbok.
- Svenska Akademien. 2015. *Svenska Akademiens ordlista över svenska språket, den fjortonde upplagan*. Göteborg: Göteborgsuniversitet. (<https://svenska.se/>, 2024 年 5 月アクセス)
- 梅谷綾. 2014. 「コーパス検索システム Korp の基本使用方法：現代スウェーデン語コーパスを中心に」, 『IDUN－北欧研究－』 21. pp. 161–178.
- 梅谷綾. 2022. 「スウェーデン語コーパス検索システム Korp ver. 9 の使い方：現代スウェーデン語コーパス Moderna をを中心に」, 『IDUN－北欧研究－』 24. pp. 99–108.

コーパス

- Språkbanken Text. Göteborgsposten 2005. (<https://spraakbanken.gu.se/resurser/gp>, 2024 年 5 月アクセス)
- Språkbanken Text. PAROLE. (<https://spraakbanken.gu.se/resurser/parole>, 2024 年 5 月アクセス)